

(第2号様式) (用紙日本工業規格A3横長型)

神奈川県教育委員会教育長 殿

提出日：平成29年4月28日

学校名：県立港北高等学校

平成29年度 学校評価報告書 (目標設定)・実施結果)

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ①1750分の授業時間確保のため55分授業への円滑な移行を図る。 ②平成29年度からの新たな教育課程を円滑に実施する。 ③朝学習、夏期講習・補習の充実に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ①54分授業への円滑な移行を図る。 ③朝学習などにおいて、ICTの活用を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①教務規定に必要な改定を施す/授業研究を通して、54分の有効利用を図る/週29コマ教育課程から週30コマ教育課程への移行を検討する。 ③朝学習において、CLASSIの活用を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①教務規定の改定が適切に行われたか/生徒による授業評価等/検討により教育課程が改善されたか。 ③どれだけ多くの生徒が、CLASSIを活用したか。
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒が安心して学べる学校づくりと支援体制の充実を図る。 ②生徒会活動及び部活動を通して、生徒の自主性や主体性を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①教育相談の充実と地域及び外部機関との連携により、安心・安全な学校生活を実現する。 ②教科外活動においても、「主体的・対話的で深い学び」を実現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①各学年の教育相談担当を中心にチーム支援を充実させる/学習・進路・生徒の3支援グループによる一次的援助サービスの充実を図る。 ②アクティブ・ラーニングの視点で指導・支援にあたる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①適切にチームで支援できたか/各グループ業務及び全体指導を教育相談の視点で遂行したか。 ②文化祭や体育祭などの学校行事、部活動の活動状況に変化が現れたか。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒の発達課題に応じたキャリア教育を実践し、生徒の自己実現力を育成する。 ②校内外の関係部署との連携を深め、生徒の個性や多様な進路希望に適した支援体制の充実を図る。 ③進路相談体制の強化、拡充を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①キャリア教育と授業改革を一体化させ、「主体的・対話的で深い学び」を実現する。 ②③生徒向け及び保護者向けの説明会並びに教員向け研修会の工夫・改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①授業を通じたキャリア教育とアクティブ・ラーニングの視点による進路指導を展開する。 ②③大学進学者の指導に即した職員研修を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒による授業評価等 ②③2、3年生を対象とした上級学校講座等の来校数の推移や、進路資料室の利用状況等の変化。

4	地域等との協働	<p>①地域との連携・協働により開かれた学校づくりを進める。</p> <p>②保護者・地域への情報提供に努め、家庭・地域の支援体制を整える。</p> <p>③横浜北東・川崎地域の高等学校との情報交換・交流により、教員の授業力向上と豊かな生徒発表の場を構築する。</p>	<p>③横浜北東・川崎地域の高等学校との情報交換・交流により、教員の授業力向上を図り、豊かな生徒発表の場を実現する。</p>	<p>③授業力向上の取り組みをとおして、横浜・北東川崎地域の取りまとめ校としての意識を高め、全校的協力体制を整える。</p>	<p>③地域の学習成果発表会と研究成果発表会の本校生徒・教職員の参加人数。及び地域全体の参加人数。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①防災に係る地域連携を進め、教職員や生徒の防災意識を高める。</p> <p>②事故防止会議（不祥事防止研修会）を実施し、教職員の危機管理意識を高める。</p>	<p>①生徒の安全確保に必要な学校防災の取り組みについて教職員の共通理解を図る。</p> <p>②年間計画に基づき、全職員対象の事故防止会議を職員会議に併せて行なう。</p>	<p>①家庭で生徒を交えて話し合い提出させた帰宅カードを元に帰宅班訓練を実施する／各クラスの防災係から選出したメンバーを太尾地区防災訓練等に参加させる／防災講話の内容を本校生徒の実情に合うように精選して、本校教職員が講師となって実施する。／DIG研修を実施する。</p> <p>②各グループが持ち回りで時期に合わせたテーマを設定して担当を務め、より効果的な事故防止会議となるように工夫する。</p>	<p>①学校・保護者並びに地域住民の連携を重視して取り組むことができたか。</p> <p>②事故・不祥事防止の各テーマについて、教職員が自らの課題として受け止め、問題解決の方策について積極的・意識的に取り組むことができたか。</p>